

単元まるごと計画「きもちをつたえよう」（全2時間）

単元のゴール（can-do）：表情やジェスチャーをつけて、自分の気持ちや様子をたずね合うことに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	How are you? と気持ちを表す言い方（happy, sleepy など）に慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	相手に伝わるように、表情やジェスチャーをつけて自分の気持ちを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	表情やジェスチャーを工夫しながら、すすんで気持ちをたずね合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全2時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	－	気持ちのことばと出会う（カード＋ジェスチャー）・きもちジェスチャー当て	歌（Hello Song）＋あいさつ	記録なし
2	－	きもちステレオゲーム→ How are you? インタビューたんけん	歌＋ジェスチャー復習	◎ 行動観察＋振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌	—（Let's Try!付属音源）
5-12	きもちカードで練習	きもちカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（当てっこ→たんけん）	活動シート1～3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. 気持ちのことは6つでよい（8つ全部を覚えさせない。sleepy と tired はどちらかでも成立）
- 2. ステレオゲーム（活動2）は2ラウンドでやめてよい
- 3. インタビューは3人で十分（人数より「表情をつけて言えた」を見る）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ きもちカード（提示用1部＋黒板掲示用）
- ☐ 活動シート1・3（人数分）＋シート2（先生用・1部）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・本当の気持ちを言いたくない日があってもよい。「きょうはカードをゆびさすだけでOK」の逃げ道を全体に伝えておく
- ・表情をつくるのが苦手な子は、ジェスチャー（カコぶ・Zzのポーズ）だけで十分伝わることを見せる
- ・sadを選んだ子には活動後にさりげなく声をかける（英語の授業が気持ちのSOSを拾う場面になることがある）

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・先生が最初に I'm sleepy.（正直な気持ち）を言って見せると、教室の空気が決まる。「先生も眠いんだ！」の笑いが、本当の気持ちを言っていいい許可証になる
- ・How are you? — I'm fine. の丸暗記往復にしない。カードを黒板に貼って「今日はどれ？」と選ばせるだけで、返事が本物になる
- ・ジェスチャーは日本語の「元気」のニュアンスに引きずられず、絵カードのポーズで統一すると、あとで見てもだれでも同じ動きができる